

新型コロナウイルスの感染状況が再び悪化して、今年最初の自然観察会は残念ながら中止せざるを得なくなりました。これは2021年1月の記録を残すことを目的として自然観察指導員と有識者数名で歩いて取った記録です。



色の違うセンダンの実
左は白く右は黄みがかっている



台湾タケクマバチが開けた穴



池に張った氷

氷の厚さは8mmほど



霜柱



ヌルデの実



コゲラの巣穴



マンリョウ



ヤブコウジ



ソシンロウバイ



タデジマカミキリが開けた穴



アカホシ TENTOU



シンジュキノカワガの繭の抜け殻



ナガゴマフカミキリ

ポーベリア菌に侵されて絶命している



タデジマカミキリ

カクレミノにしがみついて越冬中



カンチク



コブシのつぼみ



地衣類



ノキシノブの胞子嚢



アラカシ



ナミ TENTOU



ムラサキシジミ



キモグリバエの仲間



キノコの仲間



キノコの仲間



コケの胞子嚢



クモの卵嚢



スギの雄花



アベマキの葉

上が表、下が裏



イロハモミジの芽



スイカズラ



ツバキ



アオキの雄花



ヤマノイモの実



ムクノキの実



スズコナリヒラ



ニシキギ



ジャノヒゲ



ノシラン



ヨコヅナサシガメの幼虫



コウバイ

平和公園での観察項目(観察順): センダンの実,鳥のフン,スホウチク,スホウチクにタイワンタケクマバチが開けた穴,オタマジャクシ池の氷,霜柱,ヌルデの実,ウラギンシジミ,クリオオアブラムシ,コゲラの巣穴,マンリョウ,ヤブコウジ,ガマズミの実,ソシンロウバイ,タテジマカミキリ,タテジマカミキリが開けた穴,ガマの穂で遊ぶ子ども,アカホシテントウ,タマカタカイガラムシ,マユミ,ナンテン,ポーベリア菌に侵されたナガゴマフカミキリ,ツバキ,シンジュキノカワガの繭,カラタチ,アオツツラフジ,カンチク,コブシのつぼみ,地衣類,ノキシノブ,トウチク,アラカシ,ナミテントウ,ムラサキシジミ,キモグリバエの仲間,イロハモミジの種,カワラタケの仲間,コケの胞子嚢,アラカシのドングリ,ナミテントウの蛹,クモの卵嚢,スギの雄花,アベマキの葉,リュウゼツラン,ジャノヒゲ,クモの脱皮殻,スイカズラ,モチツツジ,オオハナワラビ,アオキの雄花,死んだハチ,ヤマノイモの実,トタテグモ?の巣,ムクノキの実,フユノハナワラビ,アオスジアゲハの蛹の抜け殻,スズコナリヒラタケ,ニシキギ,ガガイモの実,ノシラン,ヨコヅナサシガメの幼虫,コウバイ